

新庁舎建設基本設計中間案

～豊岡の固有の自然・歴史・伝統・文化を
大切にするまちづくりの象徴として～



▲外観イメージ

市では、新庁舎建設に向けて、外観のイメージや建設位置などをまとめた「基本設計中間案」を作成しました。この中間案は、先日の市政重要施策の市民説明会で説明した内容です。基本設計は、来年1月末に完成する予定です。

《問合せ》新庁舎建設推進室 ☎21-9020

位置・基本構造等

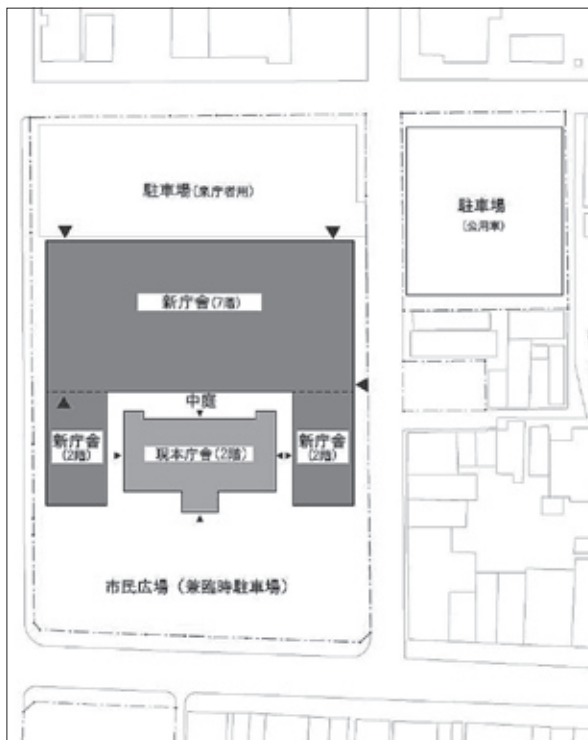
- ▽建設地 現在地
- ▽延床面積 約1万4千平方メートル
- ▽構造 鉄筋コンクリート造
(免震構造採用)
- ▽階数 地上7階建
- ▽高さ 約35メートル

設計コンセプト

- 設計のコンセプトは、次の5つを基本としています。
- ① 庁舎と街並みの調和
 - ② 現本庁舎と新庁舎の調和
 - ③ 災害対策への配慮
 - ④ 環境への配慮

庁舎の配置計画

- ⑤ ライフサイクルコストの低減
- ・ 現本庁舎を中心にシンメトリー(対称性)を基本とします。
 - ・ 大開通から圧迫感を与えないよう配置します。
 - ・ 南側にイベントなどに活用できる市民広場を配置。あわせて、中庭を設けることにより、やすらぎの空間を創造します。
 - ・ 来庁手段に対応した出入口を設け、北側に駐車場を配置するなど、利便性を確保します。



▲庁舎の配置イメージ

現本庁舎の活用

昭和2年に北但大震災の復興のシンボルとして建築された現本庁舎は、豊岡の固有の自然・歴史・伝統・文化を大切にすするまちづくりの基本理念のもと、保存し活用します。

1階部分は、交流機能（イベント・会議などに利用）とし、市民広場とあわせて活用し、交流機能の強化を図ります。

2階部分は、元々旧豊岡町の議場として設計されたもので、重厚さと風格を備えた空間を生かし、市民の代表者が議論を戦わせ、「市政の歴史を刻む場」である議場とします。



▲現本庁舎1階イメージ



▲現本庁舎2階イメージ

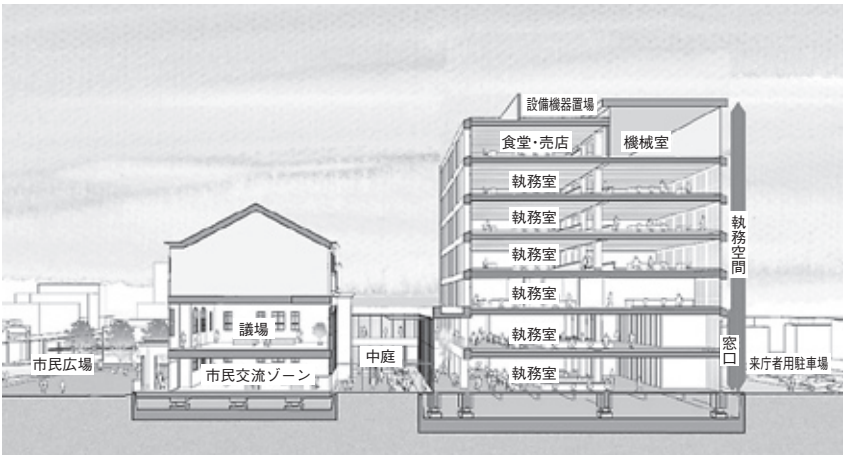
部署配置

新庁舎1階は、市民の利便性を考慮し、来庁者の多い市民課や税務課などを配置します。

2階から7階までは、それ以外の課などを配置します。

議会関係は、現本庁舎2階に議場を、新庁舎低層部に議長室や議会事務局などの関係諸室を配置します。

市長・副市長室は、災害時などの対応を考慮し、3階に配置するとともに、災害関係課や災害対策本



▲階層イメージ

部として活用する会議室もあわせて設置します。

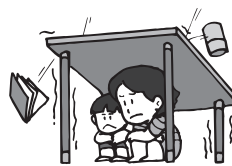
執務室は、柔軟性のある間仕切りのない執務空間とし、将来の組織変更や職員数の変動に柔軟に対応できるようにします。



災害対策への配慮 (二重三重の対策)

地震に対する安全性を高めるとともに、災害対策本部としての初動体制を確保できるように免震構造を採用します。

また、浸水対策は、平成16年の台風23号規模を想定した床高の設定、防潮板の設置、想定浸水深を考慮した階高の設定・機械設備の配置など、二重三重の対策を行います。



今後の主なスケジュール

年月	内容
平成22年1月末	基本設計完了
3月ごろ	新庁舎建設実施(詳細)設計着手
8月~12月	仮庁舎への移転
平成23年3月ごろ	建設工事着手予定
平成25年3月ごろ	庁舎完成予定

【説明会の様子】

11月29日から12月7日まで、市内6会場で説明会を行いました。

説明会には、221人の参加があり、新庁舎建設について、数多くの積極的な意見をいただきました。

今後は、説明会などいただいた意見を、できる限り反映させた新庁舎を建設していきたいと考えています。

▽主な意見

- ・豊岡市のシンボルとして多くの市民に受け入れてもらえる努力をしてほしい。
- ・もっと市民の理解が得られるよう古い建物の価値についてPRしてほしい。
- ・災害の対応がきちんとできる建物にしてほしい。



▲説明会の様子(但東総合支所)